

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.1 1

開催地：多良木町多良木10区の1

平成19年6月14日（木）、多良木町多良木10区の1において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」が開催されました。

里ノ城公民館にて開催された同報告会には、約10名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

質疑の際には、下記のとおりご意見等をいただきました。

参加者数※

町内	8名
町外	1名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問

【河川整備基本方針の説明について】

- ・基本高水や昔の洪水の例など流量で説明をしているが、算出方法を教えて欲しい。
- ・この地域は高台で浸水の問題で悩んだことが無い。私は水害の体験はあるので被害にあった方の恐怖感はあるが、水害の危険性から離れてしまうと無関心になってしまう。そういう状態で基本高水流量7,000m³/sの説明を聞いても妥当かどうか判断しづらい。
- ・親水性を高めることや住民が球磨川とどう関わるかということについての説明が少なく、ハード面の7,000m³/sの説明ばかりであった。
- ・流量などの説明は、ダムをつくることのためと聞こえた。この地域では浸水はありえない。ダムが決壊すればここも浸水するかもしれない。
- ・森林の保水力は期待できないとの説明だったが、それではどうすればよいかについて書かれておらず残念。
- ・基本高水、計画高水について、住民の疑問があれば見直し・検証することになるのか。
- ・住民団体の言っている基本高水流量を採用すれば、大掛かりな対策が不要となる。
- ・住民討論集会での議論に結論は出ていない。お互い検証しあう場を持って欲しい。住民団体はそれがないと納得しない。

【球磨川の環境について】

- ・上流域は気持ち的にも球磨川に背をむけてしまっている。ダムによって利便性は昔よりも高まっているかもしれないが、地域住民と球磨川をつなぐもの、川への親しみにつながっていくところが無い。川と住民とのつながりが深くなればこのような状況も変わるかもしれないので、河川環境の整備・対策をすすめて欲しい。
- ・里の城大橋の下に球磨川に下りる階段があるが、そのあたりを整備する計画はあるか。
- ・渇水時には市房ダムからの水が球磨川に流れてこなくなり、悪臭が発生し下水そのままといった状況になる。これは、生活廃水を球磨川に流していることが原因。多良木町でも下水道整備に力を入れて、球磨川をきれいにしたい。
- ・ハードも必要であるが、整備計画でもソフト面の対策、特に景観にも気を配りつつ検討をすすめて欲しい。
- ・多良木町付近では、通常時でも川が川で無くなっている。川辺川についてもダムを造ったら川が壊される。
- ・市房ダムが出来たことによって、河川周辺の動植物に変化があったと思う。ダムが全ての原因ではないと思うが、調査結果はあるのか。

【その他】

- ・市房ダムが満杯になって決壊した場合のシュミレーション結果を教えて欲しい。また、川辺川ダムについても決壊したときの被害の想定を教えて欲しい。
- ・国が主体でやっていく部分と住民が取り組むところとあると思うが、住民の中でも無関心であったり、話を聞いても分からない人などが多いのも事実。
- ・施設を整備するときに、造れば利用するだろうという考え方はやめた方がよい。本来は住民からの要望として地

域から声が上がるべきであり、国が造ったものを使ってくださいと言っても多分使わない。住民の気持ちが動くようにしていかないとうまくいかない。無関心が最大の問題。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ ご質問への回答については、アンケートで寄せられたご質問への回答と合わせて、後日 HP に掲載させていただきます。

